

30 愛防第 16 号
平成 30 年 4 月 27 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

平成 30 年度 病害虫発生予察注意報（第 1 号）

平成 30 年 4 月 27 日
愛 媛 県

病害虫名 果樹カメムシ類

(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)

対象作物 うめ、もも、なし、キウイフルーツ、すもも、かき、かんきつ等

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 多

3 注意報発表の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの本年の越冬密度は、県下 40 カ所調査の平均値が 1.68 頭／落葉 2 m²で、平年 (0.87 頭／落葉 2 m²) よりも多い (図 1)。
- (2) 越冬成虫を確認した地点率は 10 年間で最も高い (図 2)。
- (3) 県下 5 か所の集合フェロモントラップ調査では、第 4 半旬に全調査地点で平年を大きく上回る誘殺数となっている (表 1)。また、県下 9 か所の予察灯調査では、南予を中心に誘殺されている (表 2)。
- (4) 平成 30 年 4 月 19 日発表の四国地方 1 か月予報では、気温は平年より高いとされ、今後、気温の上昇にともない越冬成虫 (7 月頃まで生存) の果樹園への飛来が増加してくるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (2) かんきつでは開花期頃から園内への飛来が予想され、大量飛来は落花 (果) の被害が発生する恐れがあり、かきにおいても園地への飛来と被害には十分注意する。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (5) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従いただちに薬剤防除を行う。
- (6) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要である。
- (7) 薬剤は登録内容に応じて使用する (表 3)。なお、薬剤の種類によっては周辺作物や周辺の生物 (魚・蚕・ミツバチなど)、カイガラムシ類やハダニ類の異常増殖 (リサージェンス現象) に影響を及ぼすので選択には注意する。

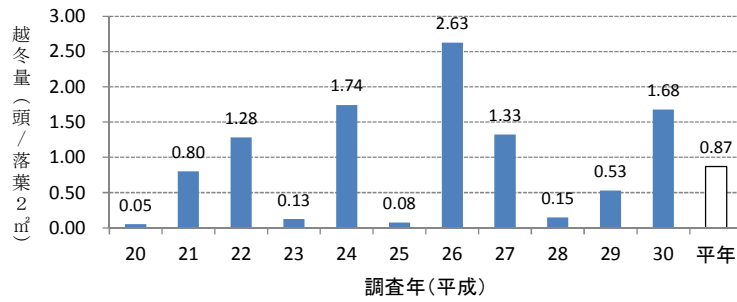


図1 チャバネアオカメムシの年次別越冬量(全域, 2月)

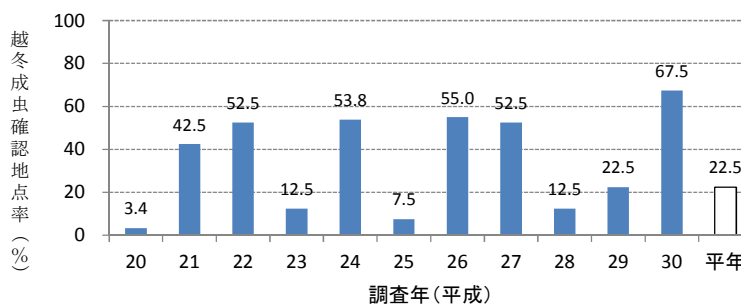


図2 チャバネアオカメムシ越冬成虫確認地点率(全域, 2月)

表1 果樹カメムシ類の集合フェロモントラップによる誘殺数

月	半旬	西条市丹原町		松山市上難波		松山市下伊台		宇和島市吉田町		鬼北町興野々	
		H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4	1	3	0	19	0.4	4	0.1	24	0.5	12	1.4
	2	2	0	2	0.2	0	0.1	2	1.1	3	1.4
	3	2	0.4	13	1.3	1	0.2	4	0.9	6	2.5
	4	48	2.5	33	1.9	4	1.9	15	2.3	19	6.8

平年: 過去10年間(平成20~29年)の誘殺数の平均値

表2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況
(東予・中予)

月	半旬	西条市西泉		松山市上難波		松山市下伊台		松前町大間		久万高原町入野	
		H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4	1	2	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.3
	2	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
	3	1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	4	0	0.0	0	0.3	1	0.3	0	0.0	0	0.0

(南予)

月	半旬	西予市宇和		宇和島市吉田		鬼北町興野々		愛南町長月	
		H30	平年	H30	平年	H30	平年	H30	平年
4	1	0	0.0	0	0.3	3	1.9	3	0.6
	2	0	0.1	0	0.4	1	0.1	10	0.6
	3	0	0.0	4	0.3	3	0.7	6	0.8
	4	0	0.0	0	0.9	0	1.9	1	2.0

平年: 過去10年間(平成20~29年)の誘殺数の平均値

表3 主な防除薬剤一覧(平成30年度愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋)

作物	IRACコード	薬剤名	使用倍率	毒性		使用時期	使用回数	防除効果 注4)		
				人毒	水産 注5)			接触効果 注2)	残効性 注3)	
うめ	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫7日前まで	2回以内	B	A	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		スカウトフロアブル	2,000	劇物	△※	収穫前日まで	3回以内	A	C	
もも	1B	スミチオン水和剤40	1,000	普通	×	収穫3日前まで	6回以内	A	C	
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	4A	アドマイヤーフロアブル	5,000	劇物	○	収穫3日前まで	2回以内	B	B	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	3A	アグロスリン水和剤	2,000	劇物	×	収穫前日まで	5回以内	A	B	
		テルスターフロアブル	3,000	劇物	×	収穫前日まで	2回以内	A	A	
	キウイフルーツ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	劇物	○	収穫前日まで	2回以内	B	B
			スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
3A		ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		アディオン乳剤	2,000	普通	×	収穫7日前まで	5回以内	A	B	
なし	1B	スミチオン水和剤40	1,000	普通	×	無袋 収穫21日前まで 有袋 収穫14日前まで	6回以内	A	C	
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	劇物	○	収穫3日前まで	2回以内	B	A	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
		アグロスリン水和剤	1,500	劇物	×	収穫前日まで	3回以内	A	B	
		スカウトフロアブル	1,500	劇物	△※	収穫前日まで	5回以内	A	C	
		テルスター水和剤	2,000	普通	△※	収穫前日まで	2回以内	A	A	
		テルスターフロアブル	5,000	劇物	×	収穫前日まで	2回以内	A	A	
		ロディー水和剤	1,000	劇物	×	収穫前日まで	2回以内	A	B	
すもも	4A	MR. ジョーカー水和剤	2,000	普通	△	収穫14日前まで	2回以内	A	A	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	4A	ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫3日前まで	3回以内	B	A	
		アドマイヤーフロアブル	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A	
	かんきつ	4A	ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
			アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
		4A	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
			モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
		3A	モスピランSL液剤	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
			MR. ジョーカー水和剤	2,000	普通	△	収穫14日前まで	2回以内	A	A
かき	4A	ロディー乳剤	2,000	劇物	×	収穫7日前まで	4回以内	A	B	
		テルスターフロアブル	5,000	劇物	×	収穫前日まで	3回以内	A	A	
	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	劇物	○	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫3日前まで	3回以内	B	A	
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	○	収穫前日まで	3回以内	B	A	
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫7日前まで	3回以内	B	A	
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	普通	△	収穫14日前まで	2回以内	A	A	
		アグロスリン水和剤	2,000	劇物	×	収穫前日まで	3回以内	A	B	
		テルスター水和剤	2,000	普通	△※	収穫14日前まで	2回以内	A	A	
2B	テルスターフロアブル	5,000	劇物	×	収穫3日前まで	2回以内	A	A		
	ロディー水和剤	1,500	劇物	×	収穫7日前まで	3回以内	A	B		
2B	キラップフロアブル	2,000	普通	○	収穫7日前まで	2回以内	A	A		

注1)IRACコード 4A:ネオニコチノイド系、3A:合成ピレスロイド系、1B:有機リン系、2B:フェニルピラゾール系

注2)A:散布1日後の死虫率がほぼ100%、B:散布1日後に生存虫がある

注3)A:5日以上、B:3日以上、C:1日以下

注4)「接触効果」「残効性」のデータは、主に「果樹カメムシ おもしろ生態とかしい防ぎ方」(堤、2003)を参考にした。

注5)水産動植物への影響(表記については平成30年度愛媛県農作物病害虫等防除指針P.8参照)